



成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2015～16 年度会長 K.R. ラビンドラン

第 2696 回例会 平成 28 年 3 月 18 日(金)

- ◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長
- ◇ ロータリーソング 我らの生業
- ◇ 四つのテスト 山田 真幸 会員
- ◇ ニコニコボックス



角田 憲司 会員:2月29日に初孫がうまれました。男の子でした。しかし、よく考えてみましたら今年は閏年なので4年に一度しか誕生日が来ないことになります。きっと人の4倍長生きできるのではないかと思います。

角田 幸弘 会員:嬉しいことが二つあります。佐藤会員から蒸気機関車のカレンダーをいただきました。もう一つは、先日ニコニコしましたが、銚子～佐原を走って、JR 東日本千葉支社の房総観光キャンペーンの一環である SL 銚子号の記念プレート



を滝沢会員よりプレゼントしていただきました。ありがとうございました。



設楽 正行 会員:3月8日から一泊二日で私が理事長を務めております花崎町振興組合と、当会員の小泉さんが会長をやっています街づくり協議会の二つが連携し組合員の研修旅行に行ってきました。甲府の山奥にあります積翠寺温泉。秘湯と呼ばれておりまして、平均年齢 77、78 歳のおばあちゃん連中を連れて行っただけですが、大変喜ばれました。無事に帰ってこられましたのでニコニコします。



音花 昭二 会員:この度3月25日付人事異動で、成田の地を離れることとなりました。本日が最後の例会出席になりますので、ご挨拶させていただきます。

平成26年1月に神崎会員とのご縁で、この伝統ある成田ロータリークラブに入会させていただきました。それから2年2ヶ月、本当にあっという間でしたが、皆さんには公私に亘り大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

元気だけが取り柄で若輩者の私にいつも温かく接して頂きましたこと、本当に嬉しく、例会や研修会に加え数々の親睦行事に参加させて頂く中で、いつのまにか私自身ものめり

込ませて頂き、充実した日々を送らせて頂きました。ご家族の皆様にも大変お世話になり、重ねて御礼申し上げます。

また、プログラム、親睦、国際奉仕委員会等におきましても、お手伝いの機会を与えて頂きました。力不足でございましたが、会長、幹事、委員長、関係者の皆様にご教示頂き、改めてロータリーの精神を含め大変勉強させて頂きました。本当に有難うございました。

この成田で、素晴らしい皆様、最高の兄貴たちに出会えたことは私の一生の財産であります。本当に残念で寂しい限りではありますが、皆様への感謝と思い出を胸に、これからも自分らしく精一杯頑張っていこうと思っております。勤務地は大手町ということで、近くにありますので、どうか引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。

最後になりますが、皆様と皆様の大切な方々がどうかお元気で活躍されますように、そしてこの成田ロータリークラブの益々のご発展を心より祈念申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

◇ 会長挨拶

佐瀬 和年 会長

小学校の卒業式真っ盛り！

食べ物の質の豊かさから、小学校 6 年生になると立派な体格になって、大人と同じようになります。中には可愛い感じの生徒もおりますが、全体的に「お兄さん、お姉さん」に成長する速度が速くなったようです。

食料生産と「水」は深い関係があります。

私自身が行っている食物作りは、いまでは日曜園芸とは言えないほどの、作付け面積を持つ農業に展開し始めました。場所は多古です。多古は田圃も、畑も作物の美味しい物が豊富に栽培できる所です。

農作業を自然農法（化学農薬不使用）で三年間続けていましたら、昨年、コウノトリが飛来してきました。コウノトリを観察している団体が、私達の田圃でコウノトリを発見し、撮影をしてインターネットで公開し大変な反響を及ぼしました。

トキは死に絶えてしまい、中国からの品種が新潟県で育っています。コウノトリも絶滅危惧種に指定されています。

「水を汚さない農法が、少しずつ増えてきているようです。」

農作物は、海外製品が大量に安い価格で日本国内に入り込み、農家は農業で生計が立ち行かなくなり、農業離れに拍車が掛っているようです。

自分の家で食べる分だけ作る

安全で美味しい米を作る

孫たちに喜んでもらえる米を作る

私達も現状をしっかりと受け止め、正しい食料確保をするようにしましょう。



◇ 表彰

米山功労者第4回マルチプル

成田 温 会員

米山功労者第1回

深堀 伸之 会員



◇ 委嘱状

米山記念奨学生 施 宜辰 カウンセラー

浅野 正博 会員



◇ 医療情報

橋 昌孝 会員

先々週 948 名、先週は 780 名。減ってはおりますが、今日も B 型を発症した患者さんがいらっしゃいました。知っていることと、実行することとは天と地ほどの開きがあります。油断すると病気にかかりますので、皆さん、注意してください。



◇ 委員会報告

・社会奉仕 佐藤 英雄 リーダー

先週の 3 月 11 日、東日本大震災 5 年目ということで陸前高田の復興状態や石巻の現状をマスコミで流しておりましたが、成田ロータリークラブでは、東日本大震災復興支援「世代を繋いで蘇れ 高田松原」というチャリティーコンサートを開く準備をしております。6 月 5 日です。チケットとポスターが 4 月 1 日にお渡しできるような体制で、菊地リーダーが先頭に立ってやっていただいております。その節はよろしく願いいたします。



・クラブ広報 諸岡 正徳 リーダー

ロータリーの記事紹介を致します。

東日本大震災から早 5 年が過ぎましたが、震災遺児に対する奨学金制度としてのロータリー希望の風奨学金に関する記事が 12 ページに記載されています。是非ご一読頂き、皆で支援の輪を広げていけたらと思います。

また、22 ページからロータリー会長エレクトであるジョン F.ジャーム氏へのインタビューの内容が記載されておりますので、お目通し下さい。

◇ 幹事報告 深堀 伸之 幹事

《回覧》

- ・週報 白井、成田空港南ロータリークラブ
- ・ハイライトよねやま 192
- ・交通遺児育英会 君とつばさ
- ・行事予定表



◇ テーブルディスカッション【水と衛生月間】



担当：クラブ会報

★発表者／杉浦 健 会員

- ・現状認識は、普段はあまり議論を深めていないテーマ
- ・しかし、ユニセフの調査では、汚染水を主要因とする下痢性の疾患で年間 34 万人の幼い子供が命をおとし、NPO 法人セーブザチルドレンの調査でも、発展途上国での病気の原因の 8 割は水の不衛生が主要因との調査結果で、世界的には極めて大きな問題
- ・従って、日本に住む我々が、いかに恵まれているかを再認識
- ・しかしながら、成田地域においても、幼少期は水田の脇に生息するザリガニを食べた経験があるが、現在はとても食べられず、その原因は、ザリガニでなく、ザリガニが生息する水の問題であり、逆に水に恵まれた我々は水を汚してしまっているのではないか?という側面もあり、国内の水についても課題は残存
- ・また、中国の爆買いで日本のウォシュレット便器が人気との報道があったと記憶しているが、最近では人気低迷との報道。その要因も、便器ではなく、水自体の浄化精度の問題であり、利便性や快適性を求めるにあたって、表面的な便器を最新化しても解決せず、高い経済成長率が続く中国においても、水自体の問題が根底に残存
- ・このように、水と衛生の問題は、生命の源であり、発展途上国はもとより、先進国においても、重要な課題が多角的に存在すること再認識し、奉仕の心をもつロータリアンとしては、本テーマについて、より知見を深め、我々に何ができるのか?という議論を今後とも深める必要性を再認識



★発表者／音花 昭二 会員

- ・まず、日本が如何に恵まれているか、衛生的にも素晴らしいかということ。特に、海外渡航の際に痛感するし、海外から従業員を雇い入れた際の彼らの反応でも改めて認識する。
- ・「水を大切にする」、必要以上に無駄遣いしないという教育・徹底も必要。
- ・「水と衛生」は財団の 6 つの重要課題の一つであり、ロータリアンの活動として注力されている。過去、地区単位で海外に井戸を掘る等の事業がなされ、クラブでも奉仕・支援も行ったが、残念ながらその井戸はメンテナンスされず塞がっているとの由。設備の設置等の直接支援だけでなく、「人づくり」が必要。「ロータリーの友」掲載の通り、持続可能にするための維持管理を地域社会が自ら行っていくような能力向上、プログラム支援が大切。
- ・子供たちの病気感染を防ぐためにも、安全な水の確保が不可欠。水質の改善（浄水）は重要なポイントであり、そこに日本の高い技術を活用できないものか。現下、様々な研究、取組みが為されているようであり、我々ロータリアンも関心をもって注視していきたい。



★発表者／後藤 敦 会員①

①世界の水に関する問題

- ・毎日世界の子供たち約 3,000 人が、水が原因で命を落としている。
- ・水道、井戸水等の整備が不十分、排水処理設備がない。
- ・結果的に世界人口約 73 億人中、水の問題を抱えている人口はおよそ 25 億人。



②世界の現実から見えてくるもの

- ・世界の貧困とされている地域の水と衛生の問題はまだほとんど解決されていないに等しい。日本に住んでいる私達は、このテーマの奥深さを認識しなくてはならない。

③千葉・成田地区

- ・成田が水に困ったことはほとんど記憶にないほど、恵まれた環境にある。
- ・現在の成田でも、上下水道が整備されているエリアと、井戸水、浄化槽等で水を処理しているエリアとに大別される。おそらく半々程度であろう。千葉・成田の恵まれた環境に改めて感謝しなくてはならない。

④今回のテーマを振り返って

- ・世界規模で見たときの水と衛生の重要性に驚きを感じました。
- ・正直、もう少し世界の貧困地域にも水が供給されているものだと勝手に認識しておりましたが、諸先輩からの様々な話しを伺えば伺うほどに、まだまだ改善されていない多くの国と地域が存在している実態を知ることができました。同時に、本テーマは世界規模での喫緊の課題であることを認識できました。改めて、国際社会貢献とは？、地域社会貢献とは？を自分自身に見つめ直すいい機会をいただきました。ありがとうございました。

★発表者／小坂 裕巳 会員①

- ・日本ほど恵まれている国はない
- ・東南アジアは、上水道、下水道の区別がなく生活排水などの垂れ流しが多く衛生設備が不十分である。
- ・特に、中国は水が濁っていて質が劣化している。所得格差が拡大しているため、水を買えない層が今後心配である。
- ・ヨーロッパでも水にカルシウムが多く含まれているものもあり、体にダメージを受けたことがある。
- ・日本の水質検査は非常に厳しいが、井戸の水質も落ちてきている。
- ・日本は食品の大半を輸入に依存しているが、この食品が出来るまでに何トンも水を使っている。諸外国の水の状況は良くないため、現地に合わせた日本の技術による水質改善の援助が必要である。



★発表者／浅野 正博 会員

世界では、子供が命を落とす原因として食糧問題と水の問題があります。海外では、日本人が水を口にすると体を壊すことがよくあります。これは、日本が水に関してはとても恵まれていて、世界から見ると上下水道が完備されていることが珍しいことなの



かもしれません。蛇口をひねれば水道から飲める水が出てきますので、日本では水で苦労することはありません。逆に衛生面が進みすぎているとも言えます。飲料水に関しては、淡水化技術が進んできており海水から飲料水を作る技術も進んできています。日本の中でも福岡や沖縄で行われているようです。成田では、市水と県水の両方を使っています。県水に関しては、ニュータウンができた頃の県水は、「まずくて飲めない」と悪い評判でしたが、今では千葉県の水は、ペットボトルに詰めて売り出すほどのものになっております。千葉県の水道技術は日本国内でもトップクラスの高度浄水処理システムを導入しておることです。そのシステムはまだ県内でも一部の地域でしか導入はされていませんが、これから拡大をして行くとのことでした。また、技術を世界に向けて売り出すことにも着手しており、技師を東ティモールに派遣もしているようです。

しかし、こういった浄水の技術は都市部に限られていることですので、水源を守ることも重要なことです。森をきれいにすることで、水源を守ることに大きな役割があるとのことでした。

★発表者／平山 秀樹 会員

小川先生から、成田高校が栗山公園のグラウンドで練習していたころは、よくご自宅に高校生が水を汲みにこられた話など、我がグループでは成田の身近な「水」の話題があがりました。さきほど、成田の水道は井戸水、県水（利根川、印旛沼取水）、混合があるという話がありました。成田の水は、元々は井戸水で品質もよく大変おいしいものでした。ところが、水に恵まれているあまり逆に水道の設備が老朽化している面があります。花崎町の方はご存じかもしれませんが、最近水道管の入れ替え工事が行われています。元からの水道管が高い水圧に耐えられないため、花崎町、上町地区では水道の水圧が足りず、受水槽が必須になっています。また、北千葉道路、圏央道の整備が進む中、成田における工場立地も注目されていますが、井戸水ではまかないきれず大量の水をどう確保するかも問題になっています。身近なところにも、「水問題」があります。



◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
63	62	42	20	67.74%	74.19%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
石橋 菊太郎、矢島 紀昭、佐藤 英雄、深堀 伸之 菊地 貴 各会員	3月11日	55周年ラテンコンサート打ち合わせ

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078